

2013年11月

伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンターニュース Vol.41



(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
ホームページ: <http://izunuma.org/>
E-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp

自然体験講座

木工クラフトとザリガニ釣り大会

9月29日(日)に、伊豆沼・内沼自然体験講座を開催しました。ザリガニ釣りや木材を使ったおもちゃ作りなどを楽しみました。



力作を製作中です!



ザリガニ釣りの名人!

伊豆沼漁師体験

10月20日(日)に、伊豆沼・内沼自然体験講座を開催しました。さまざまな網で魚を捕まえました。魚についてみんなで勉強しました。



小さな漁師さんたち



魚について勉強中

ハクチョウ初飛来

10月9日朝、若柳の水田で今年初飛来のコハクチョウ22羽(うち幼鳥2羽)を確認しました。

コハクチョウの飛来は、平年より1日早く、昨年より1日遅い飛来でした。



田んぼで休憩しているコハクチョウの群れ

伊豆沼・内沼いきもの図鑑

ヨシ *Phragmites australis*



沼周辺で多く見られる大型の水生植物です。水質浄化作用があり、水生生物の生息場所、鳥の営巣場所など生物の生活に密接にかかわっている植物です。

昔は、茅葺き屋根やすだれに利用されていました。また、肥料などの堆肥の材料としても利用されています。

定期的にヨシを刈り取らないと、ヤナギなどが生えてヤブになってしまうため、財団ではヨシ刈りを毎年行っています。



ヨシの茎に産み付けられたフナの卵

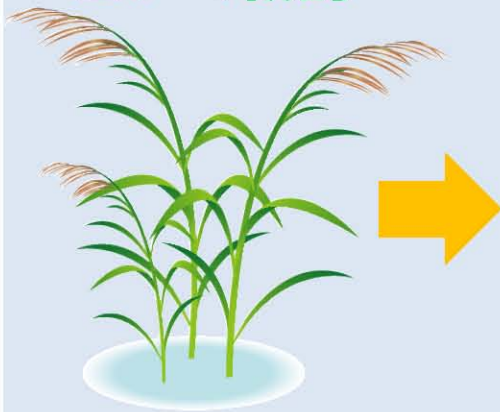


ヨシ原に生息するオオヨシキリ



伊豆沼周辺でのヨシ刈り作業

ヨシの役割



ヨシ

1. 沼の水質浄化作用
2. 魚や昆虫などの生息場所
3. 鳥の営巣場所
(オオヨシキリ、カイツブリ、オオバン)
4. 魚の産卵場
5. 茅葺き屋根に利用
6. 肥料



渡り鳥生息調査

伊豆沼・内沼

ガン類 34,865羽

ハクチョウ類

※10/9 コハクチョウ22羽初認

2013年10月11日調べ



昆虫館前の沼に数千のマガンの群れ (10/10撮影)